

うみのこてらす 年次報告書

2024.04 ~ 2025.03



一般社団法人

うみのこてらす

uminoco terrace

目次 *Contents*

ごあいさつ	01
ABOUT US（わたしたちについて）	02
活動の全体像	03
うみのこてらすの活動	
フリースペースわれもこう	04
フリースペースゆあぷれ	05
ホームフレンド事業／てらすbox	06
てらす食堂	07
中高生のフリーカフェ ゆうてらす	08
こどもたちの嬉しいエピソード	09,10
スタッフの声、連携のこと	10
その他メディア掲載等	11
サポーターズ（寄付・協賛企業）	12
活動計算書	13
寄付・お問い合わせなど	

*Uminokoterasu
Annual reports*

この1年を、 みんな

2024年度も無事に活動を終えることができたのは、
関係機関の皆さま、寄付者の皆さま、温かく
見守ってくださる皆さま、そして現場を共につくる
仲間のおかげです。心より感謝申し上げます。

この1年は、海部郡だけでなく徳島市内にも
拠点を持ち、はじめての「2拠点体制」での
挑戦の年でもありました。こどもたちと向き合い、
ともに悩み、笑い、歩んできました。



保護者の方と、こどもたちの今やこれからを一緒に考える日々。
思い通りにいかないことや迷うこともたくさんありましたが、それでも支えてくれる仲間や
地域の方、応援してくださる皆さんの存在に、何度も背中を押されました。

子どもたちが笑った日、
悩みながらも一歩踏み出した日
——その一日一日が、私たちにとっての希望です。
まだまだ未完成な私たちですが、
"目の前のひとり"の声に、
丁寧に向き合うことをこれからも大切にしていきます。



一般社団法人うみのこてらす
川邊 笑

わたしたちについて

About us

「ずっとひとりだと思っていた」 「わたしたちの声は誰が聞いてくれるのか」

人口わずか3400人の小さな町。そこで、聞こえてきたこどもたちや保護者さんの声をきっかけに、2021年、当時20歳の大学生たちと、退職した先生など地域の方と、小さな居場所づくりをはじめました。

あれから4年。うみのこてらすは、居場所を核にしながら、「繋がり」「学び」「多様な経験」を届ける活動を続けています。

自分ではどうしてもできないことで、人生を諦めてしまわないように——。

ひとりひとりが抱える背景は、家庭や経済状況、学校、地域性など様々で、私たちは制度の枠組みを越えて、『ひと』を中心にしたサポートを大切にしてきました。

人口が少ない地域で活動を継続していく難しさ。

でも私たちは、『そのひとり』に向き合うことこそが、社会の希望になると信じています。

理念 Philosophy

声なきこえを聴き、ともに今を・明日を・未来をてらす

ビジョン Vision

全てのこども・若者が大切にされ、自分らしく人生を描き歩んでいる社会を地方の町まで

代表理事
川邊 笑



理事
山下 理事



理事
大西 理事



理事
中村 理事



職員
沖津 円仁



このほかにも
学生インターンや
地域のボランティアさんなど
約25名程度で活動しています。

活動の全体像

うみのてらすは、「つながり」「学び」「多様な経験」の
“3つの機会”を軸に、こども・若者の人生をてらす活動を行っています。

3つの 機会

学ぶ環境

個に応じた適切な
学びを受けられる環境

負の連鎖を断ち切るチカラの育成

繋がる環境

信頼できる人との繋がり
豊かな出会い

多様な環境

土台となる多様な経験

どんな状況の子でも、『どこからでも、どの段階からでも』関われるように。
拠点・訪問・オンラインを組み合わせながら、一気通貫して子どもたちをサポートしています。

安心できる場所や繋がり、小さな成功体験、知らなかった選択肢に出会うこと。
それらの積み重ねが「自分らしく生きる」、未来につながると信じて。

活動事業内容 Activity

海部郡拠点

フリースペース われもこう

- ・学校に行きづらい小学生～高校生向けの居場所
- ・毎週水曜日（中高生）と木曜日（全年代）実施

フリースペース ゆあぶれ

- ・中高生を中心とした誰もが気軽に立ち寄れる居場所
- ・第2,3,4日曜日に実施

ホームフレンド事業／てらすbox

- ・拠点に通いにくい子ども・若者の家に訪問したり、食糧支援をしたり、個別のサポートを行う。

てらす食堂

- ・子どもや若者、大人までほっと一息つける食事や交流の居場所

徳島市拠点

中高生のフリーカフェ ゆうてらす

- ・中高生を対象とした、学びや交流の場として運営されるフリースペース。
- ・ななめの関係の大学生スタッフがサポート。
- ・第1,3金曜日に実施

うみのこてらすの活動

フリースペースわれもこう

2024年度を振り返って

学校に行きづらいこどもたち向けの『フリースペース われもこう』では、こどもたちが自分を表現し、安心して過ごせる場所を目指してきました。

2024年度も、こどもたちが成長するための「場所」として、たくさんの笑顔と成長の瞬間を見守ってきました。

その中で感じたのは、ひとりひとりが抱える課題の違い。

“学校に行きづらい”、“なかなかうまくいかない”というこどもたちの気持ちに寄り添い、伴走

し、ともに少しずつでもその一歩を応援し続けることが私たちの仕事だと改めて実感しました。

また今年度は、新たに中高生限定の水曜日の『われもこう+』を設け、協働や学びの場をつくりました。話し合いや意見交換を通じて、こどもたちの成長を実感できました。

今年は3名の卒業生を迎え、彼らの新しい一歩を共に喜びました。

卒業は次のステップの始まり。私たちも引き続き応援し続けます。

事業内容

学校に行きづらい小学生～高校生までの居場所活動

開校日時

毎週 水・木 曜日（10:00～15:30）

実績（こどもたちの人数）

登録人数

35人



スタッフからの一言

「ここにもあるよ、あなたの居場所」



われもこうは安心できる居場所でエネルギーをためながら、さまざまな繋がりの中で、成長していく居場所です。

うみのこてらすの活動

フリースペースゆあぷれ

2024年度を振り返って

『フリースペース ゆあぷれ』では、若者たちが自分の居場所を見つけ、安心して過ごせる空間を提供してきました。

2024年度は、特に日曜日の午後に、こどもたちがほっと一息ついて、明日から頑張ろうと思えるような時間を大切にしました。

この空間では、悩みや不安を共有することもでき、地域の方や長期休みに遊びに来てくれる

大学生など、多様な人々との交流が生まれました。

また、バレンタインイベントやクラシックライブなどをやりたいことをイベントとして実施し、こどもたちと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

事業内容

中高生を中心とした誰もが気軽に立ち寄れる居場所

開校日時

第2・3・4日曜日(13:30~16:00)

実績 (こどもたちの人数)

登録人数

55人

のべ人数

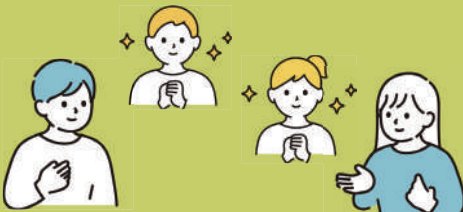
226人

コラム

長期休みになると、県内外からの短期インターン生や若手社会人がフリースペース ゆあぷれに参加してくれます。

大学のないこの町では、普段会えない「ナナメの関係」のお兄さん、お姉さんたちとの交流が、こどもたちにとって新しい視点をもたらします。

何気ない会話や遊びから、地域の子どもの世界が少しずつ広がり、インターン生たちにも地域の魅力を感じてもらえる貴重な時間となっています。



うみのこてらすの活動

ホームフレンド事業／てらすbox事業

ホームフレンド事業は、送迎の問題や不安等によって“拠点に來れないこどもたち”のために、直接ご家庭に伺い、個別で学習等サポートを行う取り組みです。

「外に出られない」、「学校に行けない」というこどもたちにとって、訪問支援は安心して過ごせる「繋がり」を家の中に届ける大切な活動です。中には、繋がりをきっかけに、人との交流や外へ

の一步が増えたという子もいます。

また、『てらすbox』は配達型フードパントリーとして、毎月1回、食料を届ける活動です。地域に住むこどもたちやその家族に必要な食材を届けるだけでなく、食料を通じて繋がりをつくることを目的としています。

食料の配達だけでなく、その際にこどもたちや保護者の方との会話を大事にしています。

事業内容

●ホームフレンド支援

：拠点に來づらいこどもたちに対して、直接お家を訪問し、学習サポートや心のケアを提供。出張型の居場所として、こどもたちが安心して過ごせる時間をつくります。

●てらすbox

：毎月1回、地域のこどもたちや家族に食料を届ける配達型フードパントリー。食料支援とともに、こどもたちや家族とのつながりを築いていきます。

開校日時

●訪問支援

：週1回～ ※訪問先によって日時が変動。

●てらすbox

：毎月1回

実績（こどもたちの人数）

参加人数

2024年度中、訪問支援では

延べ **6** 名のこどもたちに訪問し、

てらすboxでは、**28** 名に食料を届けることができました。



エピソード

「長く引きこもりがちだった子が、半年間学び続け、春から“学校へ行ってみようかな”と思えるようになった。小さな一歩が、大きな変化を生んでいます。」



うみのこてらすの活動

てらす食堂

2024年度を振り返って

てらす食堂では、地域のつながりを深めるために、毎月定期的に食事を提供しています。2024年度も、こどもたちや地域、ボランティアのみなさんが集まり、一緒に食事を楽しむ時間を大切にしました。

てらす食堂は、単なる食事の提供にとどまらず、地域のコミュニケーションの場としても大切にしています。

中には、0歳のときから成長を見守っている赤ちゃん。「かわいいね」「もう喋るようになったんけ～」、そんな温かな言葉が聞こえてきます。

地域のボランティアのみなさんのおかげで、**地域で子育てをする**という温もりを感じることができました。

地域の方々との交流が広がり、地域の一体感を感じながら、取り組んでいます。

事業内容

毎月地域のこどもたちや若者、地域のみなさんが集まり、食事を提供しています。

開校日時

第1 日曜日（11:30～13:00）

実績（こどもたちの人数）

参加人数

657人



参加者の方からの一言

- 料理が美味しかった。
- 『また来てね』、と声をかけてもらえた。
- まだ数回しか利用していないが、『毎月ありがとうございます』と声をかけていただいた。
- 普段作らないメニューや味付けを知ることができた。
- 利用している方と顔見知りになり、私の引越しのため別れを悲しんでくれた。
- コンビニのパンやおにぎりではなく、あたたかいご飯が食べられる。



うみのこてらすの活動

中高生のフリーカフェ ゆうてらす

2024年度を振り返って

2024年8月より、大学生を中心に活動を開始した“中高生のフリーカフェ ゆうてらす”は、最初は2,3人の参加者から始まりましたが、イベントを開催したり、近隣の学校でチラシを配っていただいたりすることで、徐々に参加者が増えていきました。

「未来がひろがる、君なりの場所」をコンセプトに掲げ、地域の中高生にとって、安心と出会いを届けることを目指しました。

その中で、自分に自信が持てない悩みや親との関係性の悩み、進路に対する不安、そして経済的な困難など、多くの中高生が抱える問題について、会話の中で相談してくれる場面も増えました。

ゆうてらすがただの集まりの場ではなく、子どもたちが安心して話せる場所になっていけることを願っています。

事業内容

中高生を対象とした、学びや交流の場として運営されるフリーカフェ。
食事を一緒にしたり、ご飯をつくったりしています。

開校日時

第1・3 金曜日（16:00～19:00） ※特別イベントや企画は不定期で開催

実績（こどもたちの人数）

登録人数

39名



スタッフからの一言

最初は少人数からスタートしましたが、みんなが集まりやすい場所になったことが本当に嬉しいです。

これからも気軽に立ち寄れる場所を作り続け、中高生の心の居場所を支えていきたいです。



こどもたちの嬉しいエピソード

One phrase

一言で表すと・・・

Voice

こどもたちからの声

第二の実家

学校と家の間

友だちづくりパーク

人との関わりが増えた。

ここで友だちがたくさん増えた。

みんなと一緒に同じことができて楽しかった。

最初ひとりがいなかったけど、仲間が増えて来たから
楽しくなってきた。(ここに)来続けたい。

料理が楽しかった、特にオムライスに絵を描くの!

Episode 01

『異年齢交流』

「中高生が小学生を支え、高学年がまた下の子を大切に
あたたかな場」

われもこうの特徴の一つは小学生～高校生までの幅広い年齢層
の交流です。同年代や異なる年代のこどもたち同士の関わりから
、頼り頼られる、支え合いの関係性がこどもたち同士で生まれて
いました。

初めてわれもこうに見学に来た、不安そうな子の横にはいつも
明るく、“大丈夫だよ”と言って寄り添ってくれる先輩たちの姿が
あります。



Episode 02

『みんなでやったらおもしろい』

「外遊びもゲームもなんでも、集団でやる時間」

われもこうはでは全員共通のカリキュラムはありません。なので、
“みんなを誘う”ことで、強制的でない自分で選んだ先の“みんなで
やる”があります。みんなで大画面でゲームをしたり、みんなで外で
ケイドロをして走り回ったり、初詣に出かけたりしました。

気付けば初めて走り回る姿を見る子や初めてのスポーツに挑戦した
子も。また、みんながやりやすいようルールを工夫する、話し合う場
面も自然に生まれました。

Episode03

『作ってみたい料理がどんどん本格的に！』

以前は慣れない料理に少し戸惑う様子も見られたなか、今では本格的な料理に挑戦するようになりました。

「みじん切りってどうやるのかな?」、「たまねぎのみじん切りは分かったけど、じゃあにんじんはどうしたらいい?」などの疑問も自分たちで調べてみたり、友だち同士で教え・支え合いながら料理に取り組んでいます。みんなで作った美味しいご飯をみんなでいただいています。



スタッフの声、連携のこと

必要としているこどもも家庭と早期につながる。そして、成長段階に合わせ、必要なサポートを届ける。そのために、私たちは様々な関係機関のみなさまとつながり、共に取り組む体制を大切にしています。

学校や行政との連携

顔の見える関係性を大切にしながら、児童生徒が在籍する小中学校に訪問し、支援方針の相談などを行っています。また、毎月団体の活動をお知らせする『てらす通信』を作成するなど、活動報告にも力を入れました。

14の学校で出席扱いと認定していただきました。

2024年度 連携学校 **14** 校

他団体との連携

他のこども食堂や、学童、教育相談員、ハローワークなど、他団体の方との情報共有や支援連携も行いました。



活動の様子

スタッフの声

学校や行政、教育・医療機関、ハローワーク、企業の方など、多くの方々がこどもたちのことをともに考え、ご協力くださいました。

地域のつながりは、こどもたちを支える上で欠かせないものだ実感しています。



スタッフ



スタッフ

その他・メディア等掲載

2025/02/16

四国放送

「若者力大賞」を受賞

牟岐町でフリースペース提供の女性【徳島】

2024/11/26

U-29ドットコム

子どもの可能性を広げる機会を届ける川辺笑。

周囲の期待や価値観に葛藤した学生時代

2024/06/07

読売新聞

徳島：悩む子の居場所 過疎地にも 地域ニュース

2024/11/17

徳島新聞

踏み出す意義訴える うみのこてらす(牟岐町)

代表の川邊さん、母校の徳島北高で講演

2024/11/26

読売新聞

一般社団法人うみのこてらす(牟岐町)がCFで
資金募る 居場所づくりや学習支援など…

「子ども支援のモデルを全国に」

2024/10/15

先端教育オンライン

過疎地に子どもたちの居場所を

教育格差・地域格差の課題を解決へ

2024/05/23

ねとらぼ

過疎地域で育つ子どもたちの“しんどさ”と

“機会の格差”とは 力と可能性を広げる

子どもの居場所プロジェクトが支援募集中

2024/08/16

四国放送テレビ

「地方に子どもたちの居場所を作る」悩みを

抱えた子どもらのため牟岐町の23歳の女性が

フリースペース作り【徳島】

2024/10/15

朝日新聞

過疎地に足りない「子どもの居場所」

23歳起業家が挑んだ拠点作り

受賞歴

2024年「Forbes JAPAN」
いま注目のNPO50 に出選

令和6年度 阿波女あきんど大賞
経営者部門大賞

公益財団法人日本ユースリーダー協会
ユースリーダー賞受賞



サポーターズ（寄付・協賛企業）

日頃よりご支援をいただいている皆様に厚く御礼申し上げます。

こどもたちに無償で学びをとどけるために、個人の寄付者様に加えて、企業の皆様にもご支援をいただいております。一部ですがご紹介いたします。

今後もみなさまとともに、こどもたちの学びを届けて行きたいと思います。

クラウドファンディング寄付者様

※誌面の関係上、ある一定のコース選択の方のみご掲載させていただいています。

（以下、五十音順）

法人様

- ・ イツモスマイル株式会社 様
- ・ 株式会社クラッシー 様
- ・ 株式会社シケン 様
- ・ 椎名産業 様
- ・ 八代目きもと農園 様
- ・ 焼肉しんさん 様
- ・ 有限会社小田商店 様

個人様

- ・ 近藤 徹也 様
- ・ 野田 慶多 様
- ・ 真鍋 康正 様

ご協力

- ・ 株式会社オオキタ 様：お弁当の低額提供
- ・ きもとや（木本食品有限会社）様：誕生日ケーキの提供
- ・ 有限会社宝来堂 様：お菓子やパンの提供
- ・ 株式会社情熱カンパニー 様：ご寄付と農業体験や野菜等のご提供



＼いただいたスポンジケーキをみんなで飾りつけ／



＼とりたてキャベツが甘い！／

一般社団法人うみのこてらす 2024年度決算書・収支報告

科 目	金 額		
Ⅰ 経常収益			
1. 助成金収益		12,894,600	
2. 寄付金収益		16,223,650	
3. その他収益		1,656,008	
経常収益計			30,784,258
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給与手当	6,358,045		
人件費計	6,358,045		
(2)その他経費			
会場費	279,200		
研修費	39,020		
業務委託費	3,432,539		
印刷製本費	139,608		
広告宣伝費	1,296		
旅費交通費	689,214		
交際費	37,731		
会議費	127,514		
通信運搬費	384,043		
租税公課	2,300		
消耗品費	2,253,668		
修繕費	160,000		
水道光熱費	67,415		
保険料	77,144		
新聞図書費	66,234		
諸会費	60,000		
支払手数料	1,893,300		
地代家賃	125,000		
賃借料	64,800		
支払報酬料	245,300		
減価償却費	105,833		
その他経費計	10,725,988		
事業費計		17,084,033	
2. 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(1)その他経費			
業務委託費	286,000		
支払手数料	13,200		
諸会費	63,700		
消耗品費	5,198		
地代家賃	50,000		
その他経費計	531,288		
管理費計		531,288	
経常費用計			17,615,321
経常外収益			
事業費			
雑収入	206,302		
管理費			
受取利息	8,763		
雑収入	153,090		
経常外収益計			368,155
税引前当期正味財産増減額			13,537,092
法人税、住民税等及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			13,467,092
前期繰越正味財産額			5,918,040
次期繰越正味財産額			19,385,132

助成金収入

行政からではなく、民間の企業様や財団様等からの助成金になります。今年度は複数の財団や企業様よりご支援いただきました。

寄 付 金

クラウドファンディングのご寄付や、今回大口のご寄付もいただくことができました。またこのうち、約半数弱が翌年度分のご寄付も入っているため、金額が大きくなっています。現在は単発のご寄付がメインとなっておりますが、今後安定的に活動を届けるために継続寄付という形で仲間集めにも力をいれていきます。

人 件 費

2024年度は、有償（アルバイト含む）が9名となりました。

業 務 委 託 費

専門家や、業務委託、動画制作などの予算。

旅 費 交 通 費

ボランティアやスタッフの方への交通費。

消 耗 品 費

子どもたちの活動で使用する文具や物品購入、事務消耗品費。ご飯作りやお菓子作りなどにかかる原材料費。

支 払 手 数 料

日々の支払い手数料・クラファン等の手数料など。

当期正味財産額

約1300万ほど繰越しました。24年度は25年度分のお金を集める動きをしたため、このうち約850万円は次年度分としていただいたものです。そのため、繰越金が大きな金額となっています。現在の資金をもとに、仲間を新たに採用し、事業拡大をするために25年度は約2200万の見込みです。皆様のご支援に感謝し、活動を継続できるように頑張ります。

お問い合わせ

お問い合わせ

ご見学や取材等、団体へのお問い合わせはこちらから



info@uminokoterasu.com



公式LINE @274slkok

活動のフォロー



うみのこてらす団体HP



公式LINE



各種SNSまとめ
(Instagram・Facebook)



うみのこてらすへのご支援について

うみのこてらすの活動は、みなさまからのご寄付をはじめ、様々なご支援で成り立っています。行政や民間企業もなかなか手が届きにくい子どもたちの支援を一緒につくっていきませんか。

個人のみなさまへ

ご寄付

毎月1,000円からの応援サポーター様を募集しています。いただいたご寄付は、子どもたちの活動費や拠点の備品等購入、スタッフ人件費・交通費などに活用させていただきます。

毎月**1,000円**でできること

1人の子どもに
1時間分の勉強を
教えることができます。

毎月**3,000円**でできること

1人の子どもが
1日無料で居場所に
通えるようになります。

【寄付フォーム】

- ・オンライン
- ・クレジットカード払いに対応

【銀行振込】

GMOあおぞらネット銀行 (0310)
法人第二営業部支店 (102)
普通 1693747
シヤ) ウミノコテラス



ご寄付はこちら

ボランティア

一緒に活動してくださるボランティアを募集しています。子どもと関わることが好きな大学生・社会人・地域の方、一緒に子どもの成長を見守っていきませんか？
お好きなペースでご参加いただけます。

食材・物資の提供

子ども食堂や居場所で使用する食材や物資を募集しています。
ex) お米、調味料、お野菜、飲み物 など

法人のみなさまへ

うみのこてらすへのご寄付は、損金算入が可能です。
メールでのお問い合わせ、直接やり取り等
お問い合わせください。

なぜご寄付なのか...

まだまだ障害者分野のように制度事業ではなく、さらに若い団体の私たちの支援活動では、行政からの補助なく運営しています。民間財団の助成金もありますが、用途に縛りがある場合もあります。
ご寄付だからこそ、自由に子どもたちやスタッフに本当によい環境を届けることができます。